

一過性のイベントの費用対効果は？

令和 7 年度生駒市一般会計予算

令和 7 年度生駒市一般会計予算は、職員の給与改定による人件費や物価高に伴う委託料等の事業費、社会保障関係費が増加し、前年度より 6 億 8 千万円余り増の総額 4 7 6 億 8 8 0 0 万円の過去最大となりました。市民の安全安心を確保することを最優先とする予算編成の結果、公共施設の更新や改修、修繕などハード整備に係る予算が増えているのが特徴で、総じて堅実なものとなっています。その一方で、なおも費用対効果に疑問の残るイベント予算が含まれており、塩見は予算委員会に修正案を提出しましたが、否決。本会議で原案可決されました。

公共施設マネジメントに本腰

学校や保育施設、図書館、生涯学習施設、体育施設の更新や修繕、設備の整備や改修、またそれに向けての調査や計画策定業務等に約 32 億円の予算がついています。これまでは、何か建物に不具合が生じてから予算化する場当たりの対応が多かったため、計画的に管理していく姿勢が見られるようになったことは評価できます。

市長の判断のブレがコスト増を招く

その一方で、公共施設のダウンサイジングやライフサイクルコストの縮減に向けた取組はまだ緒に就いたばかりで、今後、取組の強化が求められますが、不安材料は市長の判断がブレることです。昨年度、市民活動センターららポートのセイセイビルへの移転が白紙撤回されたため、引き続きららポートを使用するには設備改修工事が必要となり、930 万

短い公募期間 競争性は働いたか？

テレワーク&インキュベーションセンター指定管理者指定議案

3 月議会にテレワーク&インキュベーションセンターの指定管理者の指定議案が提出されました。12 月議会の補正予算可決後に選考を開始するのでは、事業者が十分な検討時間を確保できず、応募者が少なくなることが危惧されましたが、案の定、応募は現行の指定管理者だけでした。市の「指定管理者制度に関する指針」では応募期間を 4 週間とるべきところ、それを満たしていなかったこともわかりました。指定管理期間が始まる直前の指定管理者指定議案であり、どうせ議会は否決できないだろうという行政の魂胆が透けて見えます。3 年前にも別の指定管理施設で指針どおりの手続きをしていなかったことがありました。度重なる不適切な手続きを看過できず、塩見は反対しましたが、賛成多数で可決しました。

ご報告

「無所属の会」を解散しました。

昨年度、議会運営や議会改革などにおいては少数意見を反映させようと、神山、中嶋、中尾議員と「無所属の会」を結成しました。議案の採決については会派で拘束はしないが、議会人事などでは協力していこうとスタートしましたが、それすらまとまれないこともあり、また、議会改革の提案も一定、道筋がついたことから、3 月末をもって解散することになりました。

円の工事費用が計上されています。3 年前に計上された生駒南中学校のトイレの洋式化工事の予算 2,070 万円も、南小学校、南第二小学校、南中学校の統廃合計画が見送られたことによる措置でした。

費用対効果の薄いイベント

さて、本予算には、市民 PR チーム「いこまち宣伝部」の結成 10 周年イベント費用 255 万円と市立病院開設 10 周年イベント 220 万円が計上されています。前者は、同様の取組をしている全国の他の自治体や市民団体を招いてシンポジウムを開催するとのことですが、それで市民が市の推奨意欲を抱くのか、効果に疑問があります。後者は、記念式典とは別に生駒駅前ベルステージでイベントを開催するとのことですが、広報で特集記事を組む方がコストをかけずに、より市民に周知できるのではないのでしょうか。一過性のイベントに限られた職員のリソースを割く余裕などないはずです。

サロン ド し お み

茶論・de・403

参加費無料。途中入退室も可能です。

日時:5月25日(日) 13:30～16:00

場所:南コミュニティセンターせせらぎ セミナー室 301

任期の折り返し。
どうする、生駒市？どうする、生駒市議会？

編集後記

●ようやくハラスメント防止条例を制定できました。今でもハラスメント被害の声は届いており、今後は、条例がきちんと運用されているか見守らなければいけません、一区切りです。●議会での各議員の一連の採決行動を観察していて、何ものにもとらわれず、自分の意思で“まっすぐ”に行動することがこんなにも難しいものだったのかと驚かされました。政党に所属せず、次の選挙を気にしなければ、“まっすぐ”は難しいことではないのですが。

塩見 牧子

blog

Facebook

X (旧 Twitter)

バックナンパー

ご意見はこちら

し お み

塩見まきこ

市議会 newsletter 2025 年／春号



大人がこどもになる季節 撮影：山野マサ子 撮影場所：生駒山上遊園地

Contents	
Page2	“ハラスメント防止条例” 議会の全部修正案が可決
Page3	「市長」は個人情報？ 企画総務委員会 職員アンケート詳細版は公表せず / 採用試験情報の漏洩 公益通報保護法は適用されるか？ / ない袖は振れず 監査基準は簡素化見直し
Page4	一過性のイベントの費用対効果は？ / 短い公募期間 競争性は働いたか？ / 「無所属の会」を解散しました / 茶論・de・403 / 編集後記
※各記事の見出しの QR コードからより詳しいブログ記事をお読みいただけます。	

塩見牧子（しおみまきこ） 1965 年 3 月 8 日大阪生まれ。1972 年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て 2007 年 4 月、生駒市議会議員に初当選。①将来世代に元気なまちのバトンを渡す、②誰もが生きづらさを感じることなく暮らせる共生社会をつくる、③フェアで市民本位の市政運営を築くための取組みやしくみづくりの提案を活動公約としています。

塩見まきこのプロモーションビデオ(PV)
「“まっすぐ”が通る生駒に！」



